

やさしく・読みやすい本

LLブック



保存版
カタログ
vol. 5

くふう
読みやすい工夫がいろいろ



仕事にいきますが
マルチメディア
デイジーになります

次のページへ

埼玉福祉会のバリアフリー商品

LLブック

やさしく・読みやすい本

本が読めない

…のではなく

読みやすい本がなかった、

のかも…



LLブックは、やさしく読みやすい本です。一般的な表現だけでは内容を理解することが難しい知的障害や身体障害の方、日本語を母語としておらず、やさしい日本語のほうが理解しやすい方などにとって、読みやすくなるよう工夫してつくられています。

埼玉福祉会のLLブックは

読みやすくする こんな工夫 がされています！



ひろみ 洋美さんの 今日の仕事は、フロランタンづくりです。フロランタンは、いちばん人気のクッキーです。



ぼくは



バスで



がっこうに行く

写真入り

ふりがな
分ち書き

ピクトサイン

※上記は一例です。表現はLLブックの内容に合わせて使い分けられています。

LLブックや
読みやすい本って
**本当に利用
されるのかな…?**



読むことが難しい方にこそ／ 読書環境が必要です！

読書におけるバリアフリーでは、これまで視覚・聴覚障害者向け用品が注目されてきましたが、知的障害者や学習障害を抱える利用者にとっても、読書環境は必要です。環境を整え、LLブックなどの読みやすい本を身近な場所に置くことで、はじめて読書の習慣がつかます。

鹿本学園の場合 東京都立鹿本学園の取組み(肢体不自由教育部門・知的障害教育部門併置)

「知的障害の児童・生徒が**つかいやすい図書館**をつくりました」

読書環境
整えてます！



本を身近に置いたら
嬉しい変化が！

● **小学2年生の児童のケース**

- ・自分で本を借りられるようになったり、本を書架から選ぶことができるようになった。
- ・読書活動を通じ、友達同士で「貸して」「どうぞ」「ありがとう」ができるようになった。
- ・他害があったが、電車や車の本を好きになり、集中力がついたことで落ち着いた。

● **小学3年生の児童のケース**

- ・1年生の時は目の前にある本を適当に借りていたが、2年生の終わりくらいから、友達に影響を受けて、自分で選んで借りられるようになった。
- ・本を読めるようになって、友達に聞かせるようになった。

読みやすい本を身近に置いて、**読書バリアフリー**をすすめてみましょう！

『仕事に行ってきます』が マルチメディアデイジーに！

仕事に行ってきますシリーズの9巻『物流センターの仕事』のマルチメディアデイジー版が、「デイジー子どもゆめ文庫」から読めるようになります。(2026年夏予定)



画面はイメージです

マルチメディアデイジーとは？

文章を音声で聞きながら、同時にパソコンなどの画面で挿絵や写真を見ることができ、デジタル図書データです。紙の本を読むことが難しい方にとって読みやすいよう工夫されています。

デイジー子どもゆめ文庫とは？

読みに困難を持つ方のみが、無料で利用できる、マルチメディアデイジー提供サイトです。利用には会員登録が必要です。

<https://yume.jsrpd.jp/>

【運営】公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会 情報センター



仕事に行きますシリーズ

シリーズ完結しました！

「働く」ってどういうこと？
「仕事のある1日」って
どんな感じなの？

先輩たちの1日を追って
『働くことの大切さ』を学ぼう。



当事者にも支援者にもおすすめ

知的障害や発達障害を持つ方の仕事のある1日を、同じ障害を持つ方が読みやすい「L Lブック」にしました。また巻末にはその人を支える方の言葉やその仕事についての説明も掲載していますので、支援者の方にも読んで頂きたいシリーズです。



シリーズ監修
野口 武悟

専修大学文学部・大学院法学研究科教授、放送大学客員教授。現在、日本子どもの本研究会（JASCL）会長、神奈川県小田原市図書館協議会副委員長、茨城県守谷市図書館協議会副委員長なども務める。専門は、図書館情報学、特別支援教育など。

① クッキーづくりの仕事 洋美さんの1日



クッキーづくりの仕事は
とっても楽しい！

洋美さんの今の仕事はフロランタンづくりです。グループホームから通っています。洋美さんにはふたつの夢があります。それは一人暮らしをすることと、ヘルパーになることです。



2016-4501
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
■監修：藤井 克徳、野口 武悟
■主人公の障害：知的障害
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-241-3

② 動物園で、そうじの仕事 義信さんの1日



上手に息抜きすることで
仕事が上手いくようになりました。

義信さんは動物園のすぐそばではたらけるこの仕事が気に入っています。上手に息抜きする事や、自分の趣味を持ったことで、仕事や人間関係に前向きになれました。



2016-4502
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
■監修：大垣 勲男、野口 武悟
■主人公の障害：知的障害、精神障害
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-242-0

③ オフィスで事務の仕事 潤さんの1日



あこがれの先輩が目標です。

ホテルを経営している会社の、事務の仕事をしている潤さん。1人でバスに乗って1時間半もの道のりを通勤しています。あこがれの先輩を見習いながらたくさんのお仕事を覚え、4年間で15種類の作業が出来るようになりました。



2016-4503
¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
■監修：原智彦、野口武悟
■主人公の障害：知的障害
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-274-1

④ いちごを育てる仕事 輝美さんの1日



いちごのいのちを守るために…

いきものが大好きな輝美さんは自然栽培の畑で仲間と一緒に働いています。中でもいちごを育てることが一番好きです。休みがちだった輝美さんは、いちごの命を守るという気持ちが芽生えてからは、ほとんど休まなくなりました。



2016-4504
¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
■監修：藤井克徳、野口武悟
■主人公の障害：知的障害
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-275-8

⑤ カフェの仕事 裕二さんの1日



さぼらないって決めています。自分も気持ちよくないから。

社員食堂の中のカフェで働く裕二さん。仕事に好き嫌いはないけど、ていねいにやるのが信条です。今は一人暮らし中ですが、恋人と同棲する予定。将来のため、健康にも気を付けています。



2016-4505
¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
■監修：大垣 勲男、野口武悟
■主人公の障害：知的障害
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-276-5

⑥ 介護の仕事 諒子さんの1日



人に役立つ仕事をしたい…

軽度の知的障害がある諒子さんは、デイサービスで「レクリエーション」の担当を任されています。困ったときも、うまく周りの人に相談することで、仕事を7年間続けています。職場のよさこいグループにも参加、はじめて一人旅にも行きました。



2016-4506
¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
■監修：原智彦、野口武悟
■主人公の障害：知的障害
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-339-7

⑦ うどん屋の仕事 静さんの1日



得意を活かして 苦手は克服！

重度の自閉症のある静さんは、「めん打ち職人」になりました。手の感覚が敏感なので、最初はうまく粉を扱えませんでした。大好きなうどんをつくれるようにコツコツ練習。コシのある麺が評判を呼んで、常連のお客さんもできました。



2016-4507
¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
■監修：藤井克徳、野口武悟
■主人公の障害：知的障害、自閉症
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-340-3

⑧ 魚屋の仕事 光司さんの1日



好きを仕事にできました。

釣りが大好きな光司さんは、魚屋に就職。軽度の知的障害がありますが、どの魚が旬なのか、おすすめの食べ方なども知っている、魚博士です。少しずつ調理場に立つ仕事もはじめました。仕事帰りは、中野ブロードウェイに寄ったりして、上手に息抜きをしています。



2016-4508
¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
■監修：大垣 勲男、野口武悟
■主人公の障害：知的障害
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-341-0

⑨ 物流センターの仕事 右京さんの1日



チームをまとめるキャプテン！

軽度の知的障害がある右京さんは、物流センターで働いています。エッセンシャルワーカーと呼ばれる、大切な仕事です。5年前から現場のキャプテンになり、作業の進み具合に目を配りながら、チームをまとめてきました。



2016-4509

¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
 監修：大垣 勲男、野口 武悟
 ■主人公の障害：知的障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-402-8

⑩ 図書館の仕事 祥弘さんの1日



大好きな場所で働きたい。

祥弘さんには軽度の知的障害や双極性障害があります。学校時代はクラスになじめないこともありましたが、大好きだった図書館に勤め、5年続けています。返却本の点検や配架、予約本の回収、蔵書点検など、色々な作業をします。



2016-4510

¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■編集企画・文：季刊『コトノネ』編集部
 監修：藤井 克徳、野口 武悟
 ■主人公の障害：知的障害、発達障害、双極性障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-403-5

⑪ アパレルの仕事 聡恵さんの1日



仕事も子育ても頑張ってます。

アパレル（衣料品店）で働く女性のある1日を紹介。軽度の知的障害がある聡恵さんは、特別支援学校を卒業後、アパレルの仕事につきました。結婚し、子どもを生んだ後も、時短勤務で、同じ仕事を続けています。家族でグループホームに暮らし、まわりの人のサポートを受けながら、夫婦2人で子どもを育てています。



2016-4511

¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■著者：季刊『コトノネ』編集部
 監修：大垣 勲男、野口 武悟
 ■主人公の障害：知的障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-488-2

⑫ ガパオづくりの仕事 聖斗さんの1日



ガパオ愛にあふれています。

食品製造の職場で働く男性のある1日を紹介。事故で高次脳機能障害を負った聖斗さん。リハビリを経て、食品製造の仕事につきました。さまざまな食品をつくりませんが、中でも「ガパオ」をつくるのが大好き！仕事の後は、毎日家族と散歩に出かけ、足腰を鍛えています。



2016-4512

¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■著者：季刊『コトノネ』編集部
 監修：藤井 克徳、野口 武悟
 ■主人公の障害：高次脳機能障害、視覚障害、体幹機能障害、言語機能障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-489-9

⑬ ホテルの仕事 光さんの1日



「そうじ」道を究める男性の1日

軽度の知的障害がある光さんは、湖畔に建つホテルで客室清掃の仕事をしています。そうじが好きで、家でも仕事場でも、ピカピカになるまで、そうじをする毎日です。体を鍛えるために、2時間以上歩いて家に帰るなど、ストイックな日々を送っています。



2016-4513

¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■著者：季刊『コトノネ』編集部
 監修：大垣 勲男、野口 武悟
 ■主人公の障害：知的障害、自閉スペクトラム症
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-558-2

⑭ テレワークの仕事 眞実さんの1日



お気に入りの囲まれながら、自宅でお仕事

事務の仕事をする眞実さんは、病気を発症後、テレワークで働くことを選びました。自分の体調や障害特性に合うよう工夫しながら働ける今の環境が気に入っています。絵を描いたり、英語を勉強したりと、仕事の後も大忙しです。



2016-4514

¥2,420 (税抜 ¥2,200)

■著者：季刊『コトノネ』編集部
 監修：藤井 克徳、野口 武悟
 ■主人公の障害：線維筋痛症、発達障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-559-9

15 植物園の仕事 勝弘さんの1日



植物園を支える緑の下の力持ち

植物園ではたらいで 11 年目の勝弘さんは、春夏秋冬、季節に合わせて、園内のさまざま仕事をしています。秋は、たくさん落ちるギンナの実を集めて食べられるように下処理したり、落ち葉をそうじしたりと、大忙し。どんな時も一生懸命です。



2016-4515
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
 ■著者：季刊『コトノネ』編集部
 ■監修：藤井克徳、野口武悟
 ■主人公の障害：知的障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-621-3

16 ドーナツ屋の仕事 静香さんの1日



わたしがつくったドーナツを、召し上がれ！

ドーナツ屋ではたらく静香さんは、朝早くにお店に入って、ドーナツを製造。接客もこなします。10 年目には、キャリアアップを目指して、社員にもなりました。仕事が終われば、大好きなマンガやアニメのグッズがたくさん並ぶ自分の家で、のんびり過ごします。



2016-4516
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
 ■著者：季刊『コトノネ』編集部
 ■監修：原智彦、野口武悟
 ■主人公の障害：知的障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-622-0

17 空港の仕事 大晴さんの1日



飛行機のすぐそばでお仕事

空港ではたらく大晴さんは、入社後、事務の仕事などをへてから、グランドハンドリングの仕事にチャレンジ。お客さんが預けた荷物をカートに積むのは体力勝負です。ソフトボールで培った体力を生かして、暑い日も寒い日も仕事に打ち込みます。



2016-4517
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
 ■著者：季刊『コトノネ』編集部
 ■監修：藤井克徳、野口武悟
 ■主人公の障害：知的障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-689-3

18 保育園の仕事 みゆきさんの1日



子どもの笑顔が好きだから

子どもが好きだからと、保育園に勤めたみゆきさんは、勤続 20 年超。いまでは新人の保育士さんから頼りにされる存在です。仕事場では、朝から夕方まで動き回り、常に子供たちに目配りしています。



2016-4518
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
 ■著者：季刊『コトノネ』編集部
 ■監修：大垣勲男、野口武悟
 ■主人公の障害：知的障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-690-9

19 古本屋の仕事 大吾さんの1日



できることを広げて、少しずつ

古本屋で週 2 日働く大吾さんには、強度行動障害があります。試行錯誤を経て、自分に合った仕事と生活のバランスを見つけました。安心できる職場ができたことで、自分の気持ちをより言葉できるようになったり、新しいことへ挑戦できたりと、少しずつ変化しています。



2016-4519
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
 ■著者：季刊『コトノネ』編集部
 ■監修：大垣勲男・野口武悟
 ■主人公の障害：知的障害、自閉症
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-758-6

20 ステージで和太鼓の仕事 樺蓮さんの1日



スポットライトを浴びる憧れの舞台

太鼓のコンサートを見て憧れ、そのグループのメンバーになった樺蓮さん。プロとしてステージに上がり、全国いろいろなところで太鼓を演奏しています。体力づくりや練習など、大変なこともありますが、やりがいも感じます。あなたの街にも「瑞宝太鼓」が演奏に来るかも？



2016-4520
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
 ■著者：季刊『コトノネ』編集部
 ■監修：藤井克徳・野口武悟
 ■主人公の障害：知的障害
 ■サイズ：A5判56P
 ■ISBN：978-4-86596-759-3

シリーズ
完結
しました

仕事が続けるためのコツ／ 仕事に行ってきます プラスシリーズ

『仕事に行ってきます』シリーズを
作る中で見えてきた、
「こんな本もあったら良いな」を
形にしました。
仕事のある暮らしの「プラス」
になるような、
知識やコツをまとめたシリーズです。

プラス① 休けい上手になろう



2016-6571
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
■著者：季刊『コトノネ』編集部
監修：原智彦、野口武悟
協力：金井勉
(金井勉社会保険労務士オフィス)
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-404-2

仕事が続けるためのコツを、
沢山の事例を交えて

仕事に行くと、必ずある「休けいの時間」。
でも障害のある皆さんからは、それが上手く
過ごせないという声をよく聞きます。センパイ
たちはどう過ごしているのでしょうか？自分
に合っている休けいの仕方を見つけると、仕事
はもっと楽しく長続きします。
【内容】休けいを上手くとれない主人公のや
すこさんが、上手な休けいの過ごし方を見つ
けに、センパイ達の職場を覗きに行きます。



プラス② わたしのおべんとう



2016-6572
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
■著者：季刊『コトノネ』編集部
監修：枝元なほみ、原智彦、
野口武悟
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-560-5

みんなのお弁当を、のぞき見！

お昼ごはんは、毎日をたのしくする要素のひとつ。
「今日は、何を食おうかな？」と考える
だけで、ワクワクしてきます。みんな、何を食
っているのかな？「お弁当」から、障害のある
みんなの「はたらく姿」や工夫が、見えてきます。
【内容】「自分でにぎる 大きなおにぎり」直
哉さん、「火も ほうちょうも 使わない おべ
んとう」雪穂さん、「料理大好き！なんでも
手づくり」あかねさん。3 人のお弁当作りから
職場のお昼休憩までを紹介。



プラス③ 年をとってもゆたかにはたらく



2016-6573
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
■著者：季刊『コトノネ』編集部
監修：大垣勲男、野口武悟
■マルナカ徳島空港店、浦現会社喜多産業、
株式会社Act、東邦セールズ株式会社、
株式会社青い葉
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-623-7

人生後半戦、どうはたらく？どう生きる？

年齢を重ねると、誰しも、体や心が変化しま
す。時には、その変化に合わせて、「はたら
き方」を見直すことも必要です。センパイた
ちはどうしているのでしょうか？年齢を重ね
て、はたらき方を見直した1組の夫婦を紹介
します。
【内容】藤川さん夫婦は60代。2人とも50
代を過ぎてから、それまでの仕事が続けられ
なくなって、仕事を変えました。長く働くた
めに必要な、仕事の見直しの実例です。



プラス④ まだまだ学びたい



2016-6574
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
■著者：季刊『コトノネ』編集部
監修：國本真吾、原智彦、野口武悟
■協力：馬場理恵子、
はま寿司鳥取千代水店、イオンモール鳥取北
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-691-6

新しいことを知って、ワクワク

誰でも、いくつになっても、新しいことを
学ぶのは楽しいもの。特別支援学校の高等
部を卒業して、すぐに就職を選ばず、「専攻
科」で学びながら、仕事をはじめたある
女性を紹介。就職後もダンスやピアノなど、
自分の好きなことを学び続けています。
【内容】歩美さんは高等部を卒業後、鳥取大学附
属特別支援学校の専攻科に通いました。「自分で
生活を楽しめる人になること」を目標にした専攻
科での学びが、その後の進路にも活かしています。



新刊 プラス⑤ 子育てしながらはたらく



2016-6575
¥2,420 (税抜 ¥2,200)
■著者：季刊『コトノネ』編集部
監修：延原稚枝・原智彦・野口武悟
■サイズ：A5判56P
■ISBN：978-4-86596-760-9

子どもを産んでも仕事は続けられるの？

『仕事に行ってきます』シリーズではずっと
「仕事のある暮らし」を紹介してきました。
もしそこで妊娠が判ったら、そして子ども
が生まれたら、今度はどんな暮らしになる
のでしょうか？
【内容】子どもを産んだばかりの平野さん夫
婦の暮らしを紹介。妊娠、出産、子育ては、
はじめて経験することばかり。不安もありま
すが、お互いや周りによく話し合い、産休や
育休を活用しながらがんばっています。



いちばんはじめのかずのほん 1～3巻セット

特別支援の現場で
本当に役立つ
算数の本ができました！

著：赤木 かん子
監修：田村 康二郎
ブックデザイン：永田 修

2016-0510
¥4,500 (+税)
■サイズ：菊判変形24P
■ISBN：978-4-86596-725-8



3巻セット販売

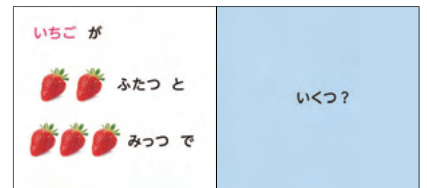
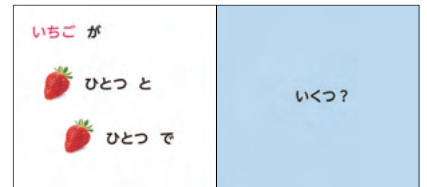
●内容●
数を数えられるようになることは、社会で生きていくために大切です。そんな数について学ぶための「いちばんはじめの」本として作りました。特別支援の現場で使いやすいよう、ストーリーや背景を排除し、数を意識することだけに集中できるようにしています。写真は瑞々しいいちごですが、これも数えやすいように、あえて同じ写真を繰り返して使っています。



①いちごでかぞえる 1から5まで
紙面の中のいちごを数えて、1から5までを実感していく内容です。横にならんだいちごが段々増えていき、数量が増えることが視覚的に捉えやすくなっています。



②いちごはいくつ? 1から5まで
「いくつ?」という質問に対して、いちごの数量を答える内容です。パラバラだったり1列になったり、並び方が変わっても、数量は変わらないことも教えています。



③いちごをたそう 1から5まで
2巻とは逆に、はじめにいちごの数量が示され、「いくつ?」と問われます。いちごといちご、同じ性質の物同士を足すと、数量が増えることを学びます。

ぼくたちがディスレクシアとわかったときのはなし



著・絵：濱口 瑛士
監修：赤木 かん子
平林 ルミ

2016-0509
¥1,800 (+税)
■サイズ：菊判変形 40P
■ISBN：978-4-86596-653-4

「字がない時代に生まれてたらよかったのにね」



●あらすじ●
主人公の「ぼく」は字を書くのが苦手です。先生からは練習が足りないと思われています。そこに字を読むのが苦手な「ケイタくん」が転校してきて、一緒に国語の宿題をすることに。おたがい協力して、相手ができないことを補ったら、初めて宿題がちゃんとできました。

ぼくと目の見えない内田さんがであったはなし

目の見えない人が、街で感じていることって…？



● あらすじ ●

主人公の少年が自販機の前で出会ったのは、全盲の「内田さん」。コーヒーのボタン探しを手伝ったことをきっかけに、普段どんなふうに街を歩き、どんなことに困っているかを教えてもらいます。全盲の方と知り合いになる機会がなかった人に、実在の視覚障害者の体験を伝えます。

ともだちってどんなひと？

あなたのともだちは、だれですか？



● あらすじ ●

私たちは日々たくさんの人に会います。でもその誰もが「ともだち」なのでしょうか？この本では「知っている人」=「ともだち」ではないかもしれないことを、シンプルな言葉で伝えます。ぜひ読んで支援者や当事者同士で話し合うきっかけにしてください。

美術館にいった

美術館でのマナーをわかりやすく



● あらすじ ●

主人公が、図書館で見つけたポスターの絵が見たくて、初めて美術館へ行くお話です。まずチケットを買うところから、作品を鑑賞するときのきまりやマナーをお伝えしています。現役の美術館の監視係でもある、宇佐江みつこさんのイラストです。

美しくなりたいあなたへ

きれいになって自分を好きになろう！



● あらすじ ●

障害を持つモデルが、美しくなることで自分に自信を持つ様子を伝えた、スウェーデンのLLブックの翻訳です。お化粧の仕方や、健康で清潔であるための体のお手入れの仕方などが、読むことが苦手な方にとってもわかりやすいよう工夫されて書かれています。きれいになることで、自分のことを大切にできるようになります。

著/監修/作 赤木 かん子

児童文学評論家。1984年「本の探偵」でデビュー。以来、子どもの本を中心に本や文化の紹介、書評、講演など、幅広い分野で活躍中。図書館の改善運動にも積極的で、特に小中学校の図書館の活性化にも努めている。

著/絵 濱口 瑛士

画家。2002年東京世田谷区生まれ。「異才発掘プロジェクト ROCKET」第1期スカラー候補生。3歳ごろから絵を描き始める。ディスレクシアのため文字を書くことを苦手とするが、言語IQは133あり、物語を作ることも得意。

絵 宇佐江 みつこ

漫画家・イラストレーター。1985年生まれ、名古屋在住。金沢美術工芸大学油絵専攻卒業。2016年から岐阜県美術館 SNS で発表している、猫の監視係による美術館 4コマ漫画「ミュージアムの女」(KADOKAWA)が、2017年に書籍化。同作は、現在も岐阜県美術館 Twitter と Facebook にて連載中。

ぼくの家はかえで荘

当事者が自分自身の権利に気づくための本



文・監修：小林 美津江
 絵：近澤 優衣
 写真：酒井 博文

2016-0001

¥1,430 (税抜 ¥1,300)

■サイズ：A5判136P
 ■ISBN：978-4-86596-127-0



● あらすじ ●
 虐待を受けた「ぼく」が、親への複雑な思いを抱えながらも、自律的な生き方を求めていく姿を本にしました。LLブックにすることで、文字の読めない当事者でも、写真や絵・絵記号を通して、自分の置かれた環境の理解や、自分の権利に気づけるようにしています。

地震がきたらどうすればいいの？



地震の時に
 どうしたらいいかを
 説明した本

作：あかぎ かんこ
 絵：mitty

2016-0504

¥1,980 (税抜 ¥1,800)

■サイズ：A4判124P
 ■ISBN：978-4-86596-129-4



● 作者コメント ●
 子どもが一人にいるときに、もし万が一、地震が来たら……と思い、何も無いよりは絵があったほうが説明しやすいだろうと作った一冊です。それぞれのおうち、学校でルールは違うだろうと思いますので、一緒に読んでどうすればいいか、話してやっていただきたいと思います。

さんびきのこぶた



世界の名作を
 新しい絵で

作：あかぎ かんこ
 絵：なかがわ だいすけ

2016-0503

¥1,980 (税抜 ¥1,800)

■サイズ：A4判 24P
 ■ISBN：978-4-86596-131-7



● 作者コメント ●
 可愛い、新しい絵で、世界昔話シリーズのひとつとして「さんびきのこぶた」を作りました。文章は短くわかりやすく、分かち書きで読みやすく、また、それぞれの文章に絵文字もつけてありますので、日本語の読み書きがあまり得意でないかたをはじめ、さまざまなかたに楽しんでいただければと思います。

ぶんぶくちゃがま



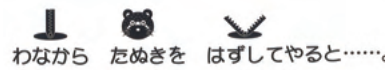
日本の昔話も
 LLブックに

作：あかぎ かんこ
 絵：なかがわ だいすけ

2016-0505

¥1,980 (税抜 ¥1,800)

■サイズ：A4判 24P
 ■ISBN：978-4-86596-132-4



● 作者コメント ●
 日本の昔話からは、おじさんが助けたたぬきが茶釜に化けて恩返しをする『ぶんぶくちゃがま』をLLブックにしました。『さんびきのこぶた』と同じく、難しい言葉は使わず、絵文字をつけ、文章は各見開き読み切りにしています。

文/監修
 藤澤 和子

大和大学保健医療学部総合リハビリテーション学科教授、博士(教育学)。専門は、言語・コミュニケーション障害学、発達心理学等。話しことばのない人の補助代替コミュニケーション手段である視覚シンボルの開発と、知的障害や自閉症の人のためのLLブックやわかりやすい情報保障などを研究テーマとしている。

文/監修
 小林 美津江

1976年より社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団に勤務し、知的障害者の支援を行う。論文に「知的障がい者への情報の保障の意義と展望：LLブックの取り組みから見えてくること」がある。

ご依頼日： 年 月 日 NO. _____

SAIFUKU 埼玉福祉会 お客様専用 **ご依頼FAX用紙** LLブックカタログVol.5 コピーしてお使い下さい。

必ず、ご用件に をお入れください。 → 注文 見積り依頼 お問い合わせ

お客様情報	お客様名	ふりがな _____		ご担当者名
	電話番号	FAX番号	お客様コード	
	ご住所	ふりがな _____ 〒 _____		

※ご注文の際は商品番号の書きまちがいにご注意ください。

	商品番号	商品名	数量	備考欄
例	0123-4567	商品名・サイズ・カラー等	123	ご自由にお使いください
1	-			
2	-			
3	-			
4	-			
5	-			
6	-			
7	-			
8	-			
9	-			
10	-			
11	-			
12	-			

《ご意見・ご要望 なんでもお書きください》

▶ FAX 048-481-0752 <24時間受付>

※当注文紙でいただいた情報に基づき、製品やサービスのお知らせなどをお届けする場合がございます。ご不要なお客様は、埼玉福祉会 商品事業部までご連絡ください。

埼玉福祉会の出版する **LLブック** は
書店や通販サイトでお取り寄せできます
書店店頭でお取り寄せの際は、書名・出版社・ISBNを書店員へお伝えください。

通販サイトは
作品一覧から
ご覧いただけます



作品一覧はこちら▶

文化と福祉を創造する



社会福祉法人
埼玉福祉会
商品事業部

〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内3-7-31
TEL 048-481-2188 FAX 048-481-0752
Eメール shohin@saifuku.com
ホームページ <https://www.saifuku.com>

問い合わせコード
SF-128